



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 タクミナ

コード番号 6322 URL <http://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田信彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理部長 (氏名) 吉田裕 TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,728	△1.8	206	△40.3	226	△33.2	112	△22.8
24年3月期第3四半期	4,814	2.8	346	45.8	338	51.6	145	11.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	18.06	17.98
24年3月期第3四半期	23.43	23.39

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,704		4,061		52.6	653.15
24年3月期	8,025		4,056		50.5	652.83

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,054百万円 24年3月期 4,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△0.1	500	△21.9	500	△19.0	290	0.4	46.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	6,440,450 株	24年3月期	6,440,450 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	232,783 株	24年3月期	237,883 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	6,206,079 株	24年3月期3Q	6,194,405 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の経済環境は、米国で経済の持ち直しが見られるものの、欧州実体経済の悪化や中国を筆頭としたアジア経済の鈍化等が世界経済の持ち直しの足枷となっております。また、国内では震災復興事業の遅れや、企業の設備投資が低調なことに加え個人消費も弱く、景気は総じて厳しい状況が続いております。

こうした状況のもと、当社を取り巻く受注環境は、海外向けプラント案件や食品向け大型装置の実績が寄与したものの、前年度のプラントなどの震災復旧案件の減少等により、売上実績は前年同四半期を僅かに下回りました。

品目別では、定量ポンプについては、プラントなどを中心とした前年同四半期の震災復旧特需案件の反動もあり、小型汎用ポンプの実績が落ち込みました。また「スムーズフローポンプ（高精度ダイヤフラムポンプ）」は、電池や塗工用は増加しましたが、プラントや食品市場向けが減少したことにより、前年同四半期実績に及びませんでした。

ケミカル移送ポンプは、海外鋼材市場の供給増加などを受け、海外製鉄プラント向け「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大口物件により、実績を大幅に伸ばしました。

流体機器は、食品やケミカル業界向けの大型装置が貢献し、前年同四半期の実績を上回りました。

タンクについては、前年度のプラント向け大型震災復旧案件の反動で前年同四半期の実績を下回りました。

海外展開に向けた販促活動としては、平成24年6月には、世界3大化学プラントショーのひとつであるドイツの「アヘマ2012」、7月には中国の「コンバーテックチャイナ2012（高機能フィルム加工技術展）」に出展し「スムーズフローポンプ」をはじめとした精密定量ポンプの技術を紹介し、注目を集めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は47億28百万円（前年同四半期比1.8%減）と前年同四半期に比べ微減となりました。

売上における製品の構成が前年同四半期と比べ変化したことによる材料費率の上昇や、平成23年11月に稼動した新工場の償却費負担が増加したことなどにより、売上総利益は18億75百万円（前年同四半期比4.0%減）と減少しました。

また、海外展示会出展や新製品の販売促進費の増加等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は2億6百万円（前年同四半期比40.3%減）、経常利益は2億26百万円（前年同四半期比33.2%減）となりました。

さらに、土地の市場価格下落を受け、一部の遊休不動産について減損損失を特別損失に計上したため、四半期純利益は1億12百万円（前年同四半期比22.8%減）と減益となりました。

品目別販売実績は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

品目別	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
定 量 ポ ン プ	2,518	52.3	2,442	51.7	△ 76	△ 3.0
ケミカル移送ポンプ	491	10.2	531	11.2	40	8.3
計 測 機 器 ・ 装 置	804	16.7	777	16.5	△ 26	△ 3.3
流 体 機 器	335	7.0	392	8.3	57	17.0
ケ ミ カ ル タ ン ク	405	8.4	371	7.9	△ 34	△ 8.4
そ の 他	258	5.4	212	4.4	△ 46	△ 17.9
合 計	4,814	100.0	4,728	100.0	△ 85	△ 1.8

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて3億21百万円減少し、77億4百万円となりました。

流動資産は2億35百万円減少し、43億79百万円となりました。主な増減内訳は、売上債権の減少3億91百万円と棚卸資産の増加1億29百万円であります。

固定資産は86百万円減少し、33億24百万円となりました。主な減少内訳は、投資有価証券の減少22百万円であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて3億26百万円減少し、36億42百万円になりました。

流動負債は43百万円増加し、24億28百万円となりました。主な増減内訳は、短期借入金の増加3億40百万円、未払法人税等の減少1億51百万円、賞与引当金の減少1億5百万円であります。

固定負債は3億70百万円減少し、12億13百万円となりました。主な減少内訳は、長期借入金の減少3億27百万円、退職給付引当金の減少34百万円であります。

また純資産は、前事業年度末に比べて4百万円減少し、40億61百万円となりました

以上の結果、自己資本比率は2.1ポイント上昇し52.6%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想については、平成24年11月2日公表の平成25年3月期第2四半期決算短信「業績予想に関する定性的情報」に記載した予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却の方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	811,402	827,306
受取手形及び売掛金	3,044,030	2,652,238
有価証券	89,988	101,970
商品及び製品	56,114	92,214
仕掛品	1,624	1,636
原材料及び貯蔵品	451,837	545,604
その他	163,075	161,145
貸倒引当金	△3,197	△2,882
流動資産合計	4,614,876	4,379,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,164,588	1,220,446
機械及び装置（純額）	144,479	149,199
土地	609,568	595,128
その他（純額）	166,832	141,232
有形固定資産合計	2,085,468	2,106,006
無形固定資産		
投資その他の資産	77,983	72,183
投資有価証券	655,972	633,637
関係会社株式	9,840	9,840
その他	584,284	506,163
貸倒引当金	△2,607	△3,058
投資その他の資産合計	1,247,489	1,146,582
固定資産合計	3,410,941	3,324,772
資産合計	8,025,818	7,704,006
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,327,584	1,307,870
短期借入金	387,112	727,112
未払法人税等	151,377	—
賞与引当金	194,000	88,812
その他	325,060	304,718
流動負債合計	2,385,134	2,428,512
固定負債		
長期借入金	673,610	345,776
再評価に係る繰延税金負債	37,686	30,841
長期未払金	197,519	197,519
退職給付引当金	668,828	634,823
その他	6,160	4,808
固定負債合計	1,583,805	1,213,768
負債合計	3,968,939	3,642,280

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	732,111	732,339
利益剰余金	2,489,003	2,489,586
自己株式	△118,767	△116,220
株主資本合計	3,995,345	3,998,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,274	57,959
繰延ヘッジ損益	1,458	261
土地再評価差額金	10,171	△2,374
評価・換算差額等合計	53,904	55,846
新株予約権	7,628	7,176
純資産合計	4,056,878	4,061,725
負債純資産合計	8,025,818	7,704,006

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	4,814,170	4,728,686
売上原価	2,861,207	2,853,498
売上総利益	1,952,963	1,875,188
販売費及び一般管理費	1,605,998	1,668,199
営業利益	346,965	206,988
営業外収益		
受取利息	4,015	4,671
受取配当金	6,731	9,878
投資有価証券売却益	—	16,960
受取保険金	4,095	—
その他	5,934	7,632
営業外収益合計	20,778	39,142
営業外費用		
支払利息	6,408	10,057
売上割引	3,209	3,161
投資有価証券売却損	2,170	—
投資有価証券評価損	9,224	—
為替差損	2,790	5,517
その他	5,503	1,308
営業外費用合計	29,306	20,044
経常利益	338,437	226,086
特別利益		
新株予約権戻入益	270	187
特別利益合計	270	187
特別損失		
固定資産除売却損	1,987	1,738
役員退職慰労金	21,167	—
減損損失	—	31,211
工場建替関連費用	24,238	—
特別損失合計	47,392	32,950
税引前四半期純利益	291,314	193,323
法人税等	146,180	81,235
四半期純利益	145,134	112,088

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。